こんにちは

石川町議会です

2026年（令和8年）

9月定例会

令和７年度決算審議 …… 1
９月定例会審議結果 …… 3
紙上中継 …… 4
９月定例会一般質問
（町政をただす） …… 5
あれからどうなった？
（一般質問のその後は） …… 13
議会の活動 …… 14

発行／石川町議会　　編集／広報常任委員会

No.232
令和８年
11月1日



写真／石川小学校　５年生のみなさん

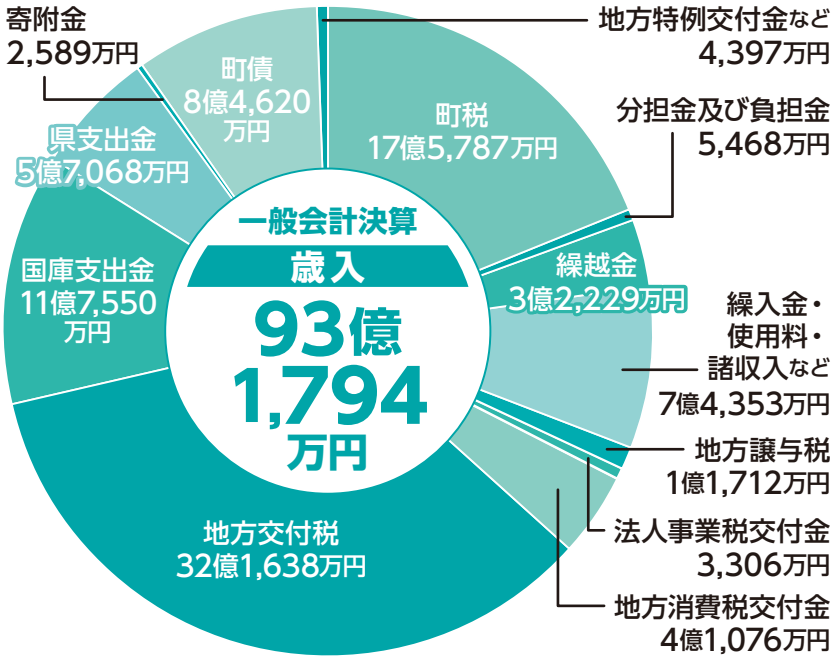
石川町議会
ホームページ

はどう使われたのか 決算審議

令和8年9月定例会は、9月3日から9月15日までの13日間の会期で開催されました。

初めに、令和7年度健全化判断比率、資金不足比率、債権放棄の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の一部改正、決算認定及び補正予算などを審議し決定しました。

一般質問には7人の議員が登壇し、39人の傍聴者がありました。



令和７年度　会計別決算審議

（万円未満は四捨五入）

会計別		歳　入	歳　出	歳入歳出差引額	採決	賛・反
一般会計		93億1,794万円	87億9,453万円	5億2,341万円	認定	全員賛成
特別会計	国民健康保険	14億5,140万円	14億1,493万円	3,647万円	認定	全員賛成
	後期高齢者医療	2億4,651万円	2億4,040万円	611万円	認定	全員賛成
	介護保険	18億9,338万円	18億5,956万円	3,382万円	認定	全員賛成
	母畑財産区	1,842万円	22万円	1,820万円	認定	全員賛成
	中谷財産区	1,293万円	8万円	1,285万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	1,882万円	655万円	1,227万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	1億9,661万円	1億9,661万円	0万円	認定	全員賛成
水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金535万円は、建設改良積立金に積み立てる			可決及び認定	全員賛成
	収益的収支	3億6,410万円	3億4,442万円	1,968万円		
	資本的収支	9,787万円	1億5,319万円	△5,532万円		

（水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額、地方公営企業法第26条の規定による過年度分損益勘定留保資金及び現年度損益勘定留保資金で補てんした。）

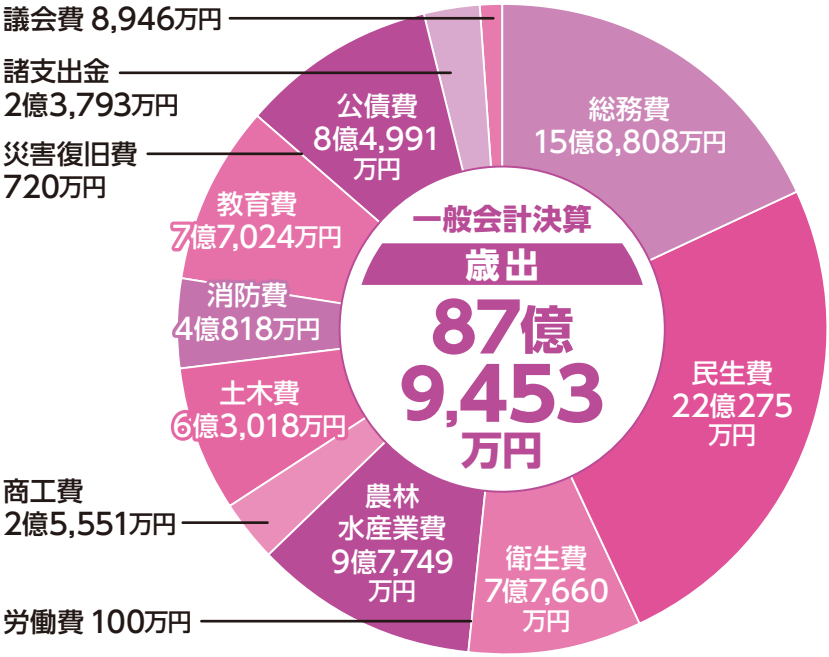
令和７年度主な事業

- 子ども・子育て支援給付事業
- 子ども医療費給付事業
- 生活支援商品券発行事業
- 道の駅整備事業
- 予防接種事業
- 農業基盤整備事業
- 中小企業支援事業
- 観光物産振興事業
- 生涯学習推進事業
- 生活交通対策事業
- 道路維持補修事業
- 橋りょう維持補修事業
- 空き家対策事業
- 地域自治組織支援事業

その他、さまざまな事業に使われました。

7年度 一般会計 特別会計

総額125億1,200万円



決算審査報告

代表監査委員　矢吹　信一
監査委員　菊池美知男

【審査結果】

令和7年度決算審査は、6月25日及び26日に水道事業会計について、7月23日から7月31日まで、一般会計、特別会計及び各基金などを審査し、いずれも適正に処理されていることを確認しました。

また、一般会計における財政指標については、実質公債費比率は前年度に比べ増加、将来負担比率は前年度に比べ減少しているものの、いずれも早期健全化基準を大きく下回っていることを確認しました。

【審査意見】

一般会計の実質収支は黒字であり、財政指標も健全な水準を保っていますが、経常収支比率が依然として高い水準にあり、財政の硬直化に注意が必要です。健全化判断比率は基準を大きく下回り、財政は健全と評価されますが、将来の税収や交付税の変動を踏まえ、過大な将来負担を避けるための厳正な財政規律の確立が求められます。

また、町税の収納率は高い水準を維持しているものの、収入未済額及び滞納繰越額は前年度比で増加しています。改善されない長期滞納への対応については、法的措置を含め、現行より一歩踏み込んだ新たな徴収方法等の検討や税務署等との連携など、効果的な徴収体制の構築を求めます。不納欠損処理は最大限の徴収努力を尽くした上で、法例に基づき慎重に行うよう求めます。

水道事業会計については、有収水量は増加したものの、有収率は前年度を下回っています。有収率は経営効率を示す重要な指標であり、改善に向けた取り組みを期待します。

水道施設や水道管等の老朽化は着実に進行しており、更新需要が見込まれることから、水道使用料の見直しのほか、今後想定される課題を見据え、財政計画の早期策定と長期的視点に立った事業運営を期待します。

令和７年度石川町健全化判断比率について（報告）

区　分	早期健全化比率	令和6年度(参考)	令和5年度(参考)
①実質公債費比率（３年間平均）	**6.8%**（起債の許可が必要18.0%）（早期健全化基準25.0%）	6.3%	6.0%
②将来負担比率	**15.5%**（早期健全化基準350.0%）	21.9%	8.1%
③実質赤字比率	**黒字決算のため算定なし**	—	—
④連結実質赤字比率	**黒字決算のため算定なし**	—	—

＊①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

令和７年度石川町資金不足比率について（報告）

区　分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

令和8年9月定例会　議案　審議結果

全議案が全会一致で承認・認定・可決・同意されました

議案番号	議案名
議案第54号	専決処分の承認を求めることについて（令和８年度石川町一般会計補正予算－第３号）
議案第55号	石川町職員倫理条例の制定について
議案第56号	石川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案第57号	石川町特定事業活動振興計画に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
議案第58号	石川町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例
議案第59号	石川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
議案第60号	令和７年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について
議案第61号	令和７年度石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第62号	令和７年度石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第63号	令和７年度石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第64号	令和７年度石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議案番号	議案名
議案第65号	令和７年度石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第66号	令和７年度石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第67号	令和７年度石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第68号	令和７年度石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議案第69号	令和８年度石川町一般会計補正予算（第４号）
議案第70号	令和８年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
議案第71号	令和８年度石川町介護保険特別会計補正予算（第１号）
議案第72号	令和８年度石川町土地開発事業特別会計補正予算（第１号）
議案第73号	令和８年度石川町水道事業会計補正予算（第１号）
議案第74号	石川町公共施設ＬＥＤ照明設備賃貸借事業契約の締結について
議案第75号	消防団救助用半長靴購入契約の締結について
議案第76号	字の区域の変更について
議案第77号	石川町教育委員会委員の任命について

一般会計補正予算の主なもの

今回の補正は、中小企業支援事業に１２３５万６千円、橋りょう維持補修事業に１１００万円を計上したほか、前年度の決算剰余金の一部を基金へ積み立てるため、財政調整基金積立金、減債基金積立金及び公共施設保全基金積立金に所要額を計上したものです。

石川町教育委員会委員の任命

石川町教育委員の任期満了に伴い、関根治男氏（大字母畑）を任命することに同意しました。

審議の経過については、こちらをご覧ください。

令和８年
７月臨時会

令和８年
９月定例会最終日

令和８年７月臨時会　議案　審議結果

令和８年７月29日に開催された令和８年７月臨時会の審議結果をお知らせします。

議案番号	議案名	審議結果
議案第51号	令和８年度石川町一般会計補正予算（第２号）	可　決
議案第52号	訴訟上の和解について	可　決
議案第53号	母畑自治センター新築工事請負契約の締結について	可　決



紙上中継

予算決算審査特別委員会

道の駅整備事業
令和7年度決算

町が進めてきた「道の駅整備事業」が、このたびついに開駅の日を迎えました。地域の新たな拠点として、多くの町民の皆さまに親しまれる施設となることが期待されます。

予算決算審査特別委員会では、道の駅整備にかかる総事業費が、資材価格や人件費の高騰によりどのように推移したか、国や県の交付金等がどれだけ確保され、町の実質的な負担がどの程度となったのかを踏まえた中で、令和7年度の決算を審査しました。

令和7年度の執行状況

◆道の駅整備事業（5億2135万円）

【主な内訳】

- 前年度繰越分（339万円）給水管敷設工事
- 委託料（56万円）
- 土地賃貸借料（715万円）工事仮設用地借地料、道の駅敷地賃借料
- 工事請負費（5億104万円）建築外構、調整池改修、造成等
- 負担金（910万円）電柱等移設工事

「道の駅石川」グランドオープン

福島県内37カ所目の道の駅となる「道の駅石川」は、令和8年9月18日(金)に開駅、グランドオープンを迎えました。

地域の生産者様から届く農産物（りんご・米など）のほか、フードコートや地元食材を中心にしたベーカリー、道の駅オリジナルスイーツ等も販売されています。

地域の交流と賑わいの新たな拠点となっておりますので、皆さま、ぜひ足をお運びください。





一般質問 町政をただす

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などを問うもので、定例会に限って行われます。今回は7名が登壇し、町の考えをただしました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。（質問の一部を割愛しています。）詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像によりご覧いただけます。

菊池美知男　議員　P6



◆高齢者等の移動手段の確保について
◆休日・夜間等の緊急事態発生時における連絡体制について
◆子育て支援について

乾　初美　議員　P7



◆町立認定こども園と民間保育施設を含めた持続可能な保育提供体制について
◆子育て世代のニーズに合った施策について

鈴木　義延　議員　P8



◆公営墓地公園整備について
◆石川サイクルフェスのあり方について

小木　芳郎　議員　P9



◆石川町の持続可能な農業振興について

迎　茂城　議員　P10



◆首藤町長就任２年経過における公約の達成度検証と将来の町政ビジョンについて

根本　重泰　議員　P11



◆石川町水道事業について

瀬谷　寿一　議員　P12



◆本町のスポーツ振興と施設整備について
◆森林環境譲与税の活用事業について

Q 高齢者タクシー及び温泉施設利用券をバスでも利用できないか

質問者の動画が見られます

A 来年度からの実施を目指し準備を進めます



菊池美知男（きくちみちお） 議員

◆高齢者等の移動手段の確保について

質問 高齢者タクシー料金兼温泉施設利用料金助成事業における公的交通機関利用への拡充は。

答弁 現行の助成券を路線バスや買い物支援バスでも利用できるよう、令和9年度からの実施を目指し準備を進めていきます。

質問 タクシー台数の確保は。

答弁 地域住民の重要な足であるタクシー運行台数の確保は重要な課題の一つであり、引き続き事業者に対して丁寧なヒアリングを行いながら、現場での課題や要望などを把握し、有効な支援策の検討を進めていきます。



待たれるバス利用

◆休日・夜間等の緊急事態発生時における連絡体制について

質問 緊急事態発生時における連絡体制の整備等の取り組みは。

答弁 休日や夜間等に、役場で宿日直が情報を受理した場合でも初動対応に遅れが生じないよう、連絡順位を明確化し、庁内における緊急連絡体制を整備しました。

質問 診療可能な病院等の紹介や情報の提供は。

答弁 県が実施する「福島県救急電話相談」「福島県こども救急電話相談」で専門家からの助言を受けられることについて、広報紙・町ホームページ・町公式LINEなどで周知を図っています。

質問 特に高齢者等や身寄りのない方が身近に相談できる町での窓口は。

答弁 土日祝日や夜間の対応には、複数の課題があり整理する必要があると考えます。

◆子育て支援について

質問 一時預かり、ファミサポ、こども誰でも通園制度のニーズの把握は。

答弁 利用者や現場の職員からの意見、町民満足度調査、自治協議会との意見交換会等で要望等を把握しています。

質問 熱中症アラートが出ているような時、モトガッコの予約を必要とする部屋に空き部屋があった場合、臨機応変に貸せないか。

答弁 今後検討します。

質問 多胎児育児の負担を軽減するための支援状況は。

答弁 多子世帯を含む多胎児家庭の支援として、経済的負担の軽減や様々な支援を行っています。

Q 今後さらに少子化が進む中で、いつまで現行の保育施設の選考による対応をしていく考えか

質問者の動画が見られます

A 現段階では何年までという答弁はできません



乾（いぬい） 初美（はつみ） 議員

◆町立認定こども園と民間保育施設を含めた持続可能な保育提供体制について

質問 町全体の保育の在り方を検討する委員会等を設置し、5年後・10年後を見据えた中長期計画を策定する考えはあるか。

答弁 持続可能な保育提供体制を構築していくため、様々な観点から検討していきます。

意見 行政だけで判断せず、民間保育事業者、保護者、保育関係者、有識者等を含めた検討の場を設けていただきたい。第6次総合計画で将来の子どもの数は既に見通されている。

町長や議員、行政を担う人が替わっても方向性がぶれないよう、5年後、10年後の保育需要や町立・民間の役割を見据えた計画を今から策定しておくことが重要。

◆子育て世代のニーズに合った施策について

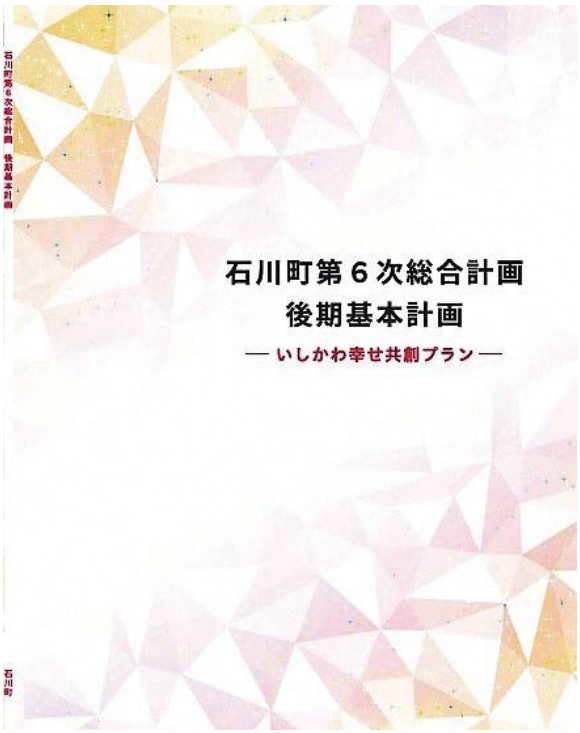
質問 ファミサポをより利用しやすくするため、現在の委託先に限らず、運営方法や委託先を幅広く研究・検討する考えはあるか。

答弁 事業改善の一環として、受託者についても幅広く再検討していきたいと考えます。

質問 子育て支援に係る予算が計上されているにもかかわらず、実施に至っていない事業について、改善策は。

答弁 予算要求から執行まで、制度の具体性や明確性を確保した上で予算計上できるような取り組みを検証していきます。

意見 町民の声を聴き、時代やニーズの変化に応じて制度や事業を柔軟に見直し、必要とされる施策を進めていただきたい。



総合計画は、町長が替わっても議員が替わっても、町の進む先を示す「羅針盤」

Q 公営墓地公園整備の必要性は

A 公営墓地の設置に係る計画は当面凍結します

質問者の動画が見られます



鈴木（すずき） 義延（よしのぶ） 議員

◆公営墓地公園整備について

質問 少子化等の社会状況変化を踏まえたうえで、公営墓地公園整備の必要性は。

答弁 寺院墓地の聞き取りでは、近年、墓地用地を増やしたり、空き区画のある寺院があることや、個別の区画の墓地から集合墓・永代供養塔へ改葬する方が増えていることなど、墓地の所有形態や利用形態が変化していることもわかりました。

これらのことから、今後の墓地需要の増加は、急激には起こらないものと判断し、公営墓地の設置に係る計画は、当面の間、凍結することとします。

◆石川サイクルフェスのあり方について

質問 スクラップアンドビルドの考えに基づいた長期継続事業見直しの必要性は。

答弁 開催に伴う大規模な交通規制が地域住民の皆様の生活や事業活動に及ぼす影響や、関係協力団体の人的・組織的負担などについてもご意見をいただき、受け止めるべき多くの課題があるものと認識しています。

質問 効果と課題を整理したうえでの、今後の石川サイクルフェス開催の見直しについて。

答弁 これまで町民の皆様のご理解とご協力をいただき、様々な工夫を凝らしながら23年間にわたり実施してきた石川サイクルフェスですが、次回以降の開催については、まさにスクラップアンドビルドの考え方に基づき、ゼロベースから事業の見直しを行い、休止または廃止も含め、今後のあり方を判断していきます。



令和８年６月７日（日）開催　第23回ＪＢＣＦ石川サイクルロードレース

Q 農業経営の効率化のための農地の集積・大区画化の状況は

質問者の動画が見られます

A 沢井・外槇で圃場整備を実施、中谷地区も来年度採択に向け合意形成を図っています



小木（おぎ） 芳郎（よしろう） 議員

◆石川町の持続可能な農業振興について

質問 農地の集積・大区画化を進め、農業経営の効率化を図る考えは。

答弁 大区画化により、大型機械による効率的な農業経営が実現され、維持管理の合理化等により、持続的な地域農業の維持振興に寄与すると考えます。

現在、沢井地区と外槇地区で圃場整備を実施しており、中谷地区でも来年度の採択に向け進めています。いずれの地区でも法人化により農地の効率的な利用に加え、さらなる農業振興、地域活性化を期待しています。

質問 町は、これからの農業をどう描いているのか。

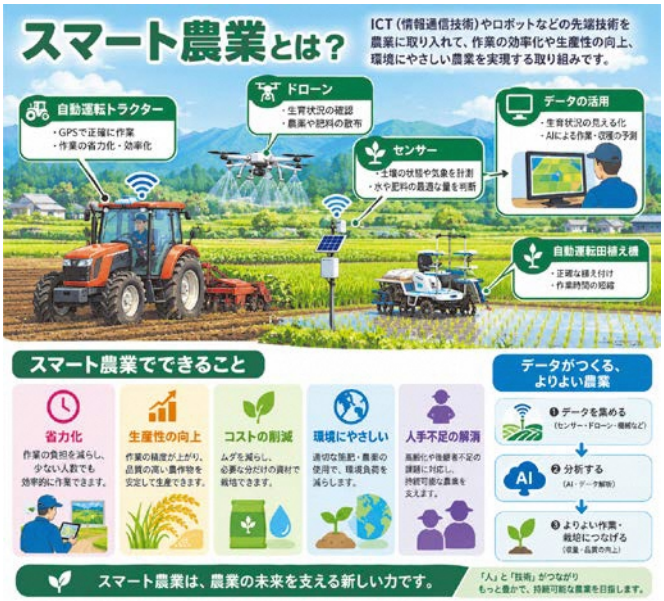
答弁 地域計画に基づき、担い手の確保・育成と農地の集積・集約化による経営規模の拡大を図り、効率的で収益性の高い農業を目指します。

質問 担い手不足に、どう対応するのか。

答弁 新規就農者育成総合対策事業を活用し、農業機械・施設のリース料や住宅・農地の賃借料などを支援します。また、地域おこし協力隊を活用し、県内外の移住・定住フェアや就農フェア等にも積極的に参加して担い手確保に努めます。

質問 スマート農業の導入をどう進めるのか。

答弁 町独自の支援事業や国・県の補助制度を活用し、GPS直進アシスト機能付きトラクター・田植機、ドローンなどの導入を支援します。



次世代の農業

質問 石川町農業の今後の振興策は。

答弁 町独自の支援事業を継続するとともに、国・県の補助金を最大限活用し、活力ある農業・農村づくりと次世代につながる農業振興に取り組みます。

意見 農業を取り巻く環境が大きく変化する中、担い手の確保、農地の集積・大区画化、スマート農業の導入を一体的に進めることが重要。関係機関との連携をさらに強化し、農業者が将来に希望を持って営農を続けられる環境づくりを期待する。



スマート農業を支える農業用ドローン

Q 将来の町政ビジョンは

質問者の動画が見られます

A 「人口減少対策」と「町民の安心安全の確保」を



迎（むかえ） 茂城（しげき） 議員

◆首藤町長就任2年経過における公約の達成度検証と将来の町政ビジョンについて

質問 官製談合事案後の町政の信頼回復と町民の自信・誇りの回復のため、法令遵守の徹底により入札制度が窮屈になってしまったと感じるところもあるが、今後の入札制度運用の具体的方針は。

答弁 公平性や透明性の確保などの入札の基本原則の遵守、地域の産業の担い手であり、災害時の守り手である地元事業者、これら双方のバランスを取りながら進めていきます。



回遊と交流人口の拡大に期待する「道の駅石川」

質問 町民が実感する政策の成果の評価・検証の手法は。

答弁 単なる支出金額の実績だけでなく、町民満足度調査による町民の皆様からの意見や補助金受給者からの意見が成果であり、様々な聞き取りによって得られた町民ニーズへ対応しながら町政運営を行っていきます。

質問 オープンを迎える「道の駅石川」に地域商社ＳＡＫＵＲＡＩＺＥが入り、観光ＰＲの拠点となるが、町内の温泉や歴史文化施設等への回遊・誘客をどう展開していくのか。

答弁 道の駅において、町内で行われる企画やイベント等を含め、デジタルサイネージ※等の媒体と、常駐するスタッフによってしっかりと情報発信をしていき、ゲートウェイ機能としての役割を果たしていきます。

質問 「共に創る 幸せ実現のまち」の実現に向けた将来ビジョンと任期後半に向けた最優先課題は。

答弁 第6次総合計画をはじめとする長期ビジョンをしっかりと展開し、「人口減少対策」と「町民の安心安全の確保」を政策パッケージとして、後期の重点課題である「子育て」「防災」「定住・移住」「交流人口」「共に創る」の5つについて、将来実を結ぶよう全力で取り組みます。

今後とも、本町の将来像である「共に創る 幸せ実現のまち」の実現へ邁進していきます。



「共に創る 幸せ実現のまち」の実現を（石川町役場）

※デジタルサイネージ：ディスプレイに映像や画像を表示する電子看板。

Q 石川町水道事業経営戦略策定の進捗状況は

質問者の動画が見られます

A 課題と優先順位を整理しながら検討しています



水道事業は、24時間町民生活と地域経済を支えています

根本（ねもと） 重泰（しげやす） 議員

◆石川町水道事業について

質問 現在の原水水質（濁度）は。

答弁 令和5年には、夏場の気温上昇に伴い高温状態が続くなどの要因により、藻類が増殖し、水質項目の一つである全有機体炭素が一時的に増加しました。

しかし、その後の水質検査では、特段の変動は確認されておらず、現時点において、原水水質は安定している状態です。

質問 新しい石川町水道事業経営戦略策定の基本的な考え方は。

答弁 浄水場は、令和2年に、新設から耐震化と長寿命化を図る令和9年度までの更新の計画に切り替えました。

更新後、将来的には広域化を図り、初期投資を抑えようという考えからの政策決定でしたが、現段階において、広域化が難しい状況にあります。

このような状況の中で、原水水質のみならず、取水施設及び導水施設、浄水場の新設についても、計画の検討対象になり得ます。

今後の経営戦略策定に当たっては、内部の検討にとどまらず、専門的かつ客観的な視点を取り入れ、「投資・財政計画」と料金水準の整合性などについて、助言や指導をいただいていきます。

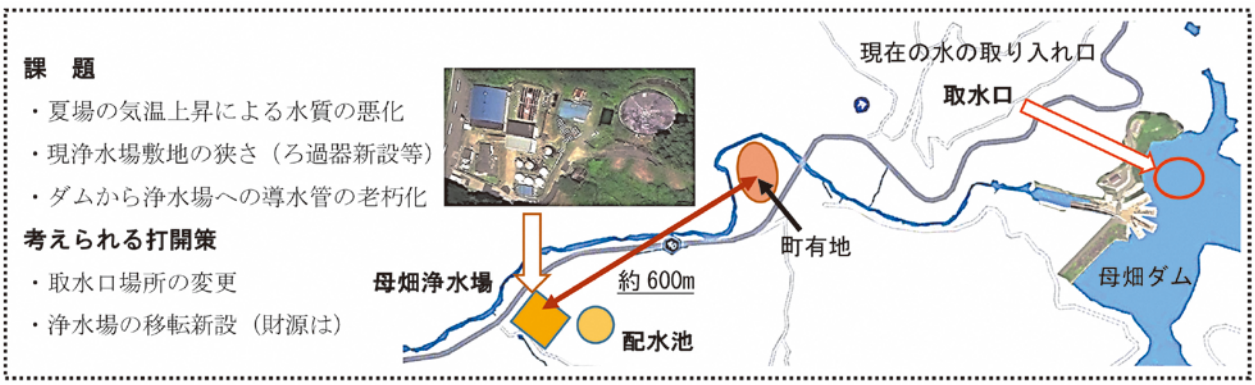
質問 水道事業の考え方は。

答弁 まず浄水場更新が最優先課題だと捉えています。

老朽管の更新は、まず既存の配水施設の安全性と安定性を考え、その上で給水区域拡大地域の配水管敷設というのが基本的な考え方です。

要望 原水水質の改善には取水口変更ではないか。変更すれば、ろ過方式も変わってくるだろうし、事業取り組みの順番も考えてほしい。

これから先50年の指標となる石川町水道事業経営戦略策定を望む。



Q「森林環境譲与税」の具体的な活用内容は

質問者の動画が見られます

A 今年度中に「森林環境譲与税の活用に関する基本方針」の策定を進めます



瀬谷（せや） 寿一（としかず） 議員

◆本町のスポーツ振興と施設整備について

質問 総合型地域スポーツクラブ※1設立の考えは。

答弁 慎重に検討せざるを得ないのが実情ですが、多世代がスポーツを楽しめる環境をいかにして作り上げるかは不可欠な視点です。

質問 競技施設の整備も重要。子どもが減っていく中で、近隣町村との関係を作っていく意味でも、本町がリードし、総合型地域スポーツクラブづくりが必要と考えるが。

答弁 実現の可能性を検討していきます。



整備された会津美里町陸上競技場

質問 さくらロードレースの見直しの考えは。

答弁 桜の時期に走らせたいという思いで開催されてきました。

今年の参加者は、270名で減少傾向にあります。何らかの見直しが必要であると受け止めています。

質問 郡山の夢駅伝や福島のももりんダッシュのようなイベント性を持った取り組みを検討できないか。

答弁 ご指摘のような取り組みも踏まえ工夫していきたいです。

質問 学法石川高校駅伝ランナーを使った町のPR動画の評価は。

答弁 令和5年12月の高校駅伝時と翌年1月の箱根駅伝時に放映されました。当時の12月から3月までで、町ホームページに約2万7千件のアクセスがあり、非常に反響が大きかったと捉えています。

◆森林環境譲与税の活用事業について

●間伐事業

質問 本町の地球温暖化防止実行計画で重視されている間伐事業が進んでいない。昨年の実績は。

答弁 全伐が96件で面積121ヘクタール、間伐は5件で6ヘクタール程度です。

質問 間伐の標準経費の国県補助が約70％で、古殿町は残りの約30％を負担している。石川町は10％程度で、支援が弱いのではないか。

答弁 森林組合等と協議をした結果ですが、古殿町と比較すると、間伐の手だてが少ないという状況です。

要望 間伐に意欲が出るような手だてを早急に確立し、CO_2削減と災害対策に寄与していただきたい。

●緑※2の文化財

質問 「緑の文化財」の保存について、令和7年度からは環境譲与税を財源に町が担当するという認識でよいか。

答弁 町の担当と考えています。



緑の文化財登録244号
両所神社の杉

※1 総合型地域スポーツクラブ：子どもから高齢者までが多種目・多志向で参加でき、地域住民が主体的に運営する非営利型の地域密着スポーツクラブ。

※2 福島県緑の文化財：県民に親しまれ愛されてきた名木や鎮守の森等の緑の財産を知事が文化財として登録したもの。石川町では、高田桜など19カ所が登録されている。

令和7年9月
定例会より

あれからどうなった？
一般質問のその後は

石川サイクルフェス
立哨員の処遇を改善



６月に開催された石川サイクルロードレース

今年で23回目を迎えた石川サイクルロードレース。これまで、自転車競技の迫力を間近で感じる機会となり、多くの選手や関係者の来訪が地域を元気づけ、交流を広げてきました。

しかし、長年続く中で、開催による効果が薄れる一方で、関係者の負担感が増しているのが実情です。今年の大会では、町内への宿泊を促進するための宿泊補助金のＰＲや、立哨員の処遇改善が図られました。

今後の開催については、一度ゼロベースに立ち返り、見直されることになりました。

磐城石川駅前駐車場の
長期放置車両のゆくえ

磐城石川駅前の町営駐車場に10年以上前から放置されていた軽自動車について、町は昨年から顧問弁護士と相談しながら撤去に向けた法的手続きを進めてきました。

調査の結果、所有者はすでに亡くなっていましたが、相続人が判明したため、今年３月に相続人を相手として訴訟を提起しました。その後の裁判所での話し合い（和解）により、相続人が車の廃棄費用を負担することで合意。今年９月に費用が支払われ、自動車工場へ依頼して無事に車両の撤去と廃棄処分が完了しました。



ＪＲ磐城石川駅前（奥が駐車場）

報告します 議会の活動

令和８年度町村議会広報研修会（7月1日）



町村議会広報研修会がビッグパレットふくしまで開催され、広報常任委員５名が「広報マインドと伝わる議会報づくり」について研修を受講しました。研修では、議会報の目的を明確にし、誰に何をどのように伝え、どのような理解や行動につなげたいのかを意識することの重要性が示されました。また、限られた時間で効率的に作成するため、記事に合わせて毎回レイアウトを変えるのではなく、見やすさ・読みやすさを重視した統一フォーマットを用いること、写真や図を適切に配置して文字ばかりの紙面にしないこと、写真の構図や著作権への配慮などのポイントも学びました。これらを意識し、より多くの皆さまに読んでいただける「議会だより」づくりに努めます。



総務産業建設常任委員会所管事務調査（7月8日）



総務産業建設常任委員７名で石川町商工会を訪問し、総務産業建設常任委員会所管事務調査を行いました。

「石川町内の商工業者の現状と課題及び行政支援のあり方について」をテーマに、石川町商工会の増子事務局長及び富永経営指導員より、商工会の活動内容や町内商工業者の現状等について説明を受け、活発な意見交換が行われました。

子育て世代の保護者との意見交換会を開催（8月7日）

文教厚生常任委員会において、子育て世代の保護者との意見交換会を開催しました。

子育て世代の保護者６名が参加、町議会からは文教厚生常任委員５名が参加し、子育て中の保護者が抱える悩みや子育て支援などについて、意見交換を行いました。

また、９月定例会では、意見交換会で出された意見等について、２名の議員が一般質問を行い、子育て支援等に関する町の考えをただしました。

未来に向かって
高校生の声

県立石川高校　3年　小貫（おぬき）　輝（ひかる）

キャリアチャレンジを通して



私の通う県立石川高校では、2年生から週に一度キャリアチャレンジの授業を行っています。この授業を選択した生徒は、お世話になる企業で一日中実習させていただきます。私も2年生の時からキャリアチャレンジを選択し、今まで三社の企業で実習させていただきました。そして、これらの実習を通し、大きく成長できた点が二つあります。

まず一つ目は、コミュニケーション能力が向上したことです。初めての実習では、緊張で職場の方々とあまり話すことができませんでした。しかし、自分から話しかけることを心がけ、周りの方々と積極的にコミュニケーションを取るように努め、自主的に行動できるようになりました。

二つ目は、報連相（ほうれんそう）の大切さを理解したことです。与えられた仕事が終わった時や、分からない所があった時に、自ら進んで報告したり、聞きに行かなければなりませんでした。そのような当たり前だけれど大切なことを、再認識させられました。これらの経験を経て、大きく成長することができました。将来就職した時には、キャリアチャレンジを通して身につけた力を遺憾なく発揮し、即戦力として活躍できるよう、これからも精進していきたいと思います。



役場でのキャリアチャレンジの様子

編集後記

石川町の地域産業振興・交流人口の増加・観光情報発信の拠点として「道の駅石川」がオープンし、1カ月が経過しました。賑わいと活気に満ち、憩いの場所として成長し続けられる施設であってほしいと願うばかりです。

鈴木　義延

議会を傍聴しませんか

12月定例会「一般質問」は12月7日（月）の予定です。

広報常任委員会

委員長　瀬谷　京子
副委員長　菊池美知男
委員　迎　茂城
委員　水野谷常子
委員　星　恵子
委員　鈴木　義延

議会インターネット中継

町議会では、本会議のライブ映像及び録画映像を配信しています。町ホームページを経由してYouTubeで視聴することができますので、ぜひご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。

石川町議会　〒963-7893　福島県石川郡石川町字長久保185-4
TEL 0247(26)2116　FAX 0247(26)0324　https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/
石川町ホームページ▶

令和8年11月1日発行
再生紙を使用しています